



除雪機による事故を防ごう!

使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう

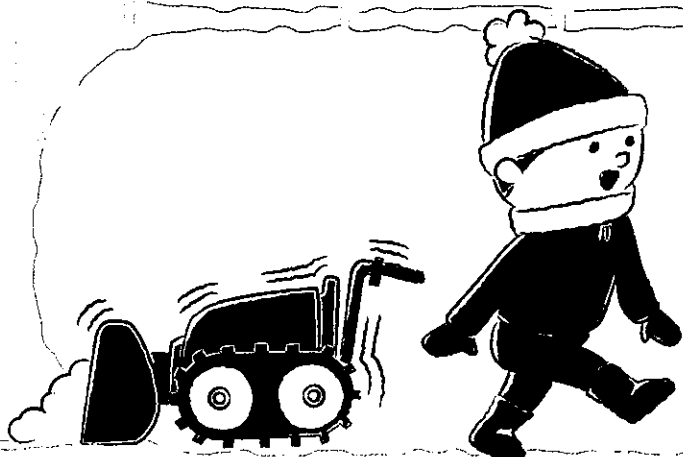
人がいる時は 使わない!

作業中は絶対にまわりに
人を近づかせない。



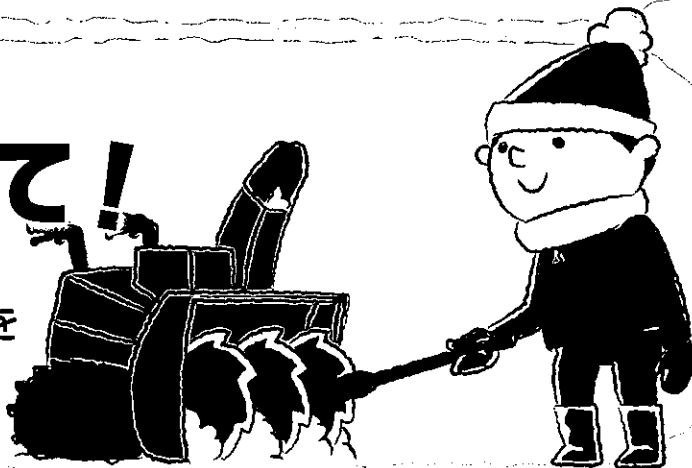
エンジンを掛けた まま離れない!

作業の時以外は、
必ずエンジンを停止する。



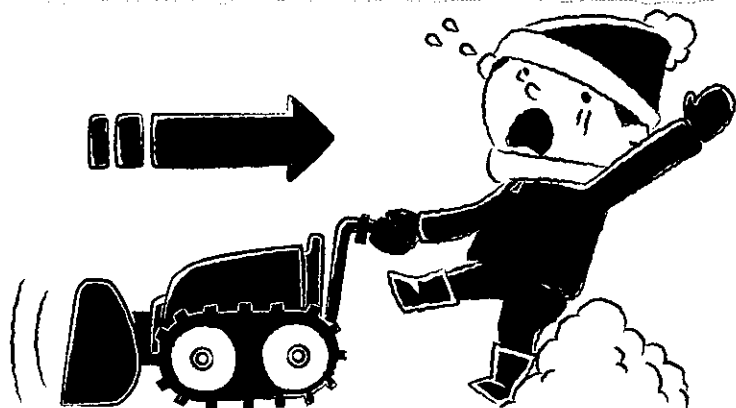
雪かき棒を使って!



雪詰まりを取り除く時は、エンジンを
止めて必ず雪かき棒を使う。



後方注意!

後進する時は、足もとや後方の
障害物に気をつける。



 必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解してください。
搭載された安全機構の使い方を理解し、正しく利用してください。
 除雪機安全協議会では「歩行型除雪機の安全規格」を策定し、
普及に努めています。

除雪機安全協議会
一般社団法人 日本農業機械工業会

<http://www.jfmma.or.jp/>

除雪機安全協議会

検索

除雪機を安全にお使い頂くために

除雪機利用中の3大事故と事故原因

出典：(独)製品評価技術基盤機構
「事故情報データベース」



除雪部の 巻き込み

- ・エンジンを停止せずに除雪部に近づく。
- ・周囲の確認が不足して他者を巻き込む。

転倒事故

- ・無理な姿勢で作業や機械の移動を行う。
- ・不注意により足を引っ掛けて転倒する。

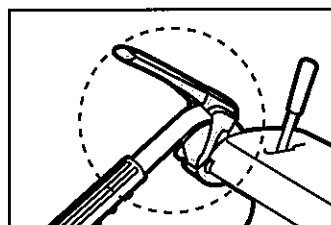
後進時に 挟まれる

- ・後進時の周辺確認が十分でない。
- ・後進速度が速すぎて機械の操作を誤る。

除雪中の事故が起こる原因を知り、正しく使用してください。

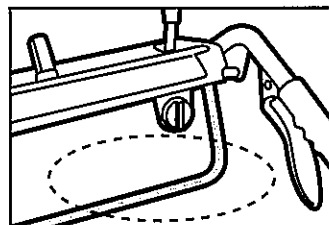
除雪機を安全にお使い頂くために

※詳しくは、お使いの除雪機の
取扱説明書をご確認ください。



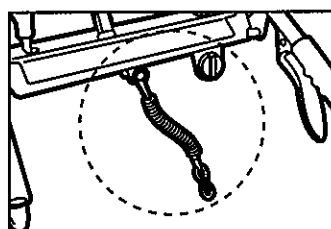
デッドマンクラッチ

現在販売される全ての除雪機に搭載される、クラッチを放すと機械が止まる機構です。



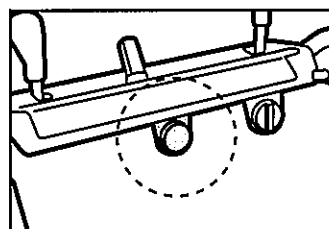
緊急停止バー

バーを押すとクラッチが切れ機械が停止します。



緊急停止クリップ

コードを引き抜くと機械が停止します。クリップを体に付けておけば、機械が離れた時に停止させることができます。



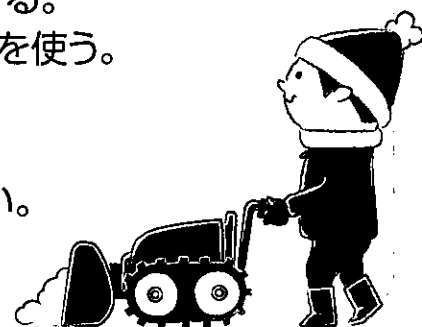
緊急停止ボタン

ボタンを押すと機械が停止します。

安全機構の無効化は非常に危険です。絶対に改造しないでください。

⚠ 注意喚起事項

- 作業前には取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解する。
- 雪詰まりを取り除くときは、エンジンを停めて、必ず雪かき棒を使う。
- 回転部に近づくときは、必ずエンジンを停める。
- 後進するときは、足下や後方の障害物に気をつける。
- 雪を飛ばす方向に注意する。作業中は絶対に人を近づけない。
- 安全機構が正しく作動しない状態では絶対使用しない。



「除雪機をご使用の際は、各市町村で決められたルールに従って除雪作業を行ってください」